

オキセサゼイン顆粒 Oxethazaine Granules

溶出試験 本品の表示量に従いオキセサゼイン($C_{28}H_{41}N_3O_3$)約 5mg に対応する量を精密に量り、試験液に pH4.0 の 0.05mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液 900mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.45 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液を試料溶液とする。別にオキセサゼイン標準品を 60 で 3 時間減圧乾燥し、その約 0.028g を精密に量り、メタノール 50mL に溶かした後、水を加えて正確に 100mL とする。この液 2mL を正確に量り、pH4.0 の 0.05mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液を加えて正確に 100mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液 100 μ L ずつを正確にとり、次の条件で液体クロマトグラフ法により試験を行い、それぞれの液のオキセサゼインのピーク面積 A_T 及び A_S を測定する。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

オキセサゼイン($C_{28}H_{41}N_3O_3$)の表示量に対する溶出率(%)

$$= \frac{W_S}{W_T} \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 18$$

W_S : オキセサゼイン標準品の量(mg)

W_T : オキセサゼイン顆粒の秤取量(g)

C : 1g 中のオキセサゼイン($C_{28}H_{41}N_3O_3$)の表示量(mg)

試験条件

検出器：紫外吸光光度計(測定波長：259nm)

カラム：内径 4.6mm，長さ 15cm のステンレス管に 5 μ m の液体クロマトグラフ用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度：40 付近の一定温度

移動相：ラウリル硫酸ナトリウムのメタノール/薄めた酢酸(100)(1→50)混液(83：17)溶液(3→5000)

流量：オキセサゼインの保持時間が約 7 分になるように調整する。

システム適合性

システムの性能：標準溶液 100 μ L につき、上記の条件で操作するとき、オキセサゼインのピークの理論段数及びシンメトリー係数は、それぞれ 2000 段以上、2.0 以下である。

システムの再現性：標準溶液 100 μ L につき、上記の条件で試験を 6 回繰り返すとき、オキセサゼインのピーク面積の相対標準偏差は 2.0%以下である。

溶出規格

表示量	規定時間	溶出率
50mg/g	60分	75%以上

オキセサゼイン標準品 オキセサゼイン(日局) . ただし , 乾燥したものを定量するとき , オキセサゼイン($C_{28}H_{41}N_3O_3$)99.0%以上を含む .

酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液 , 0.05mol/L , pH4.0 酢酸(100) 3.0g に水を加えて 1000mL とした液に , 酢酸ナトリウム三水和物 3.4g を水に溶かして 500mL とした液を加え , pH4.0 に調整する .

オキセサゼイン錠 Oxethazaine Tablets

溶出試験 本品 1 個をとり，試験液に pH4.0 の 0.05mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液 900mL を用い，溶出試験法第 2 法により，毎分 50 回転で試験を行う．溶出試験を開始し，規定時間後，溶出液 20mL 以上をとり，孔径 0.45 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10mL を除き，次のろ液 VmL を正確に量り，表示量に従い 1mL 中にオキセサゼイン(C₂₈H₄₁N₃O₃)約 5.6 μ g を含む液となるように pH4.0 の 0.05mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液を加えて正確に V' mL とし，試料溶液とする．別にオキセサゼイン標準品を 60 で 3 時間減圧乾燥し，その約 0.028g を精密に量り，メタノール 50mL に溶かした後，水を加えて正確に 100mL とする．この液 2mL を正確に量り，pH4.0 の 0.05mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液を加えて正確に 100mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液 100 μ L ずつを正確にとり，次の条件で液体クロマトグラフ法により試験を行い，それぞれの液のオキセサゼインのピーク面積 A_T 及び A_S を測定する．

本品が溶出規格を満たすときは適合とする．

オキセサゼイン(C₂₈H₄₁N₃O₃)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_s \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 18$$

W_S : オキセサゼイン標準品の量(mg)

C : 1 錠中のオキセサゼイン(C₂₈H₄₁N₃O₃)の表示量(mg)

試験条件

検出器：紫外吸光光度計(測定波長：259nm)

カラム：内径 4.6mm，長さ 15cm のステンレス管に 5 μ m の液体クロマトグラフ用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする．

カラム温度：40 付近の一定温度

移動相：ラウリル硫酸ナトリウムのメタノール/薄めた酢酸(100)(1→50)混液(83：17)溶液(3→5000)

流量：オキセサゼインの保持時間が約 7 分になるように調整する．

システム適合性

システムの性能：標準溶液 100 μ L につき，上記の条件で操作するとき，オキセサゼインのピークの理論段数及びシンメトリー係数は，それぞれ 2000 段以上，2.0 以下である．

システムの再現性：標準溶液 100 μ L につき，上記の条件で試験を 6 回繰り返すとき，オキセサゼインのピーク面積の相対標準偏差は 2.0%以下である．

溶出規格

表示量	規定時間	溶出率
5mg	45分	70%以上

オキセサゼイン標準品 オキセサゼイン(日局) . ただし , 乾燥したものを定量するとき , オキセサゼイン($C_{28}H_{41}N_3O_3$)99.0%以上を含む .

酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液 0.05mol/L pH4.0 酢酸(100)3.0g に水を加えて 100mL とした液に , 酢酸ナトリウム三水和物 3.4g を水に溶かして 500mL とした液を加え , pH4.0 に調整する .